令和4年

3月 定例会

会期／
2月28日～3月24日　25日間

令和4年度当初予算 総額635億6,521万1千円を可決

『未来応援 住みたいまち たつの』

新たな時代へ 持続可能なまちの構築に向けて

今期定例会には、一般会計をはじめ各会計の令和４年度予算を中心に、条例の制定、改正、令和３年度各会計補正予算など35件の議案が提出され、審議の結果、全て原案のとおり同意、可決しました。

定例会初日には、市長から、「新型コロナウイルス感染症拡大の中で新たな時代への大きな変化に適応し、持続可能で、誰一人取り残さないというＳＤＧｓの理念のもと、社会的包摂を実現するまちづくりに取り組んでいく」と施政方針演説がありました。

定例会で審議した案件

市長提出議案

同意案件	1件	
条例制定・改正	11件	
補正予算	7件	当初予算　11件
その他	2件	

委員会提出

条例・規則改正	2件	決議　1件

社会的包摂と満足度の高いまちづくり

新規 おたふくかぜ予防接種助成事業　1,122千円

1歳児を対象に、おたふくかぜの予防接種に要する費用の一部(3,000円/人)を助成します。

Q 対象年齢を1歳とした理由は？
A おたふくかぜは３歳以降に罹患することが多く、できるだけ早い段階で接種していただきたいということに加え、1歳になると受けられる予防接種がいくつかあるため、接種漏れを防ぐためである。

新規 敬老えらべるギフト事業　48,462千円

敬老会の開催を中止し、新しい生活様式に対応した形で社会に貢献された高齢者を敬愛し、長寿を祝福するために、「選べるギフト」を配布します。(3,000円/人)

Q ギフトの中身はどのようなものを想定しているのか。
A 敬老事業の趣旨に合致するもの、品質及び数量の面において安定供給ができるものを考えている。また、地場産品についても検討していきたい。

新規 がん患者医療用補正具購入費助成事業　983千円

がん治療による外見変貌を補完する補正具の購入費用の一部を助成し、がん患者の心理的・経済的な負担を軽減するとともに、就労等社会参加を促進し療養生活の質の向上を図ります。

新規 パートナーシップ宣誓制度運営事業　228千円

性的少数者のカップルが人生をともにするパートナーとして宣誓したことを承認し、性的少数者の権利擁護と社会への理解と啓発を行います。

Q 「人生を共にするパートナーとして宣誓したことを承認する」とあるが、市はどのように承認するのか。
A 憲法では、異性としか結婚できないが、これに対し、同性の2人であっても、これからパートナーとしてやっていくという宣誓をされたことを、市が証明したうえで、宣誓受領証と証明カードを発行するものである。